

松居慶子

アゼルバイジャンの思い出



2回目のアンコールでは、カスピ海とバクーの友人たちに向けて、アゼルバイジャンの幸せと繁栄の祈りを込めて「Deep Blue」を演奏しました。この曲を作っていたときに考えていたことは、大洋は世界のすべての大陸を結んでいる、私の音楽もこの世界の人々の心を結びつけたいということです。この歌には私の祈りが込められています。私は音楽を作ることが自分の人生における使命なのだと感じています。音楽とは宇宙あるいは神から贈られた、調和を感じるためのプレゼントなのだと思います。

私が初めてアゼルバイジャンを訪れたとき、多くの方々が以前から私の音楽を聴いてくださっていると知り、とてもうれしくなりました。そして私にとってとても驚きでした。今年は私のアメリカでの活動の記念すべき25周年となります。アゼルバイジャンで記念コンサートを開催することができてとても幸せでした！

美しくて素晴らしい芸術
です。
私の魂や思想、文化そし
て人生が音楽に反映して
います。
そして世界の様々な場所
で多くの人々が触れあう
ことを知る喜びでもあり
ます。
アゼルバイジャンで友人
たちと同じ経験を分かち
あうことが出来てとても
誇りに思っています。
そして日本やアメリカ、

アゼルバイジャンとの間
の懸け橋になることが出
来てとてもうれしく思い
ます。
このような文化や音楽を
分かちあえる機会を今後
も持てたら、と思ってい
ます。
私たちの格別な友情を願
っています。
深い感謝を込めて ✨

